



グランシップマガジン
[ジー]vol.55
GRANSHIP magazine
Summer 2012

series わが羅針 第55回

鶴澤 清治

SPECIAL-2

源平の時代はエピソードの宝庫!

伝統芸能で楽しむ「源平」。

しずおかアーティスト・リレー ⑧

写真家 若木 信吾

次世代を創る顔

デザイナー 杉江 理

村松友視の文化漫遊④①

SPECIAL-1

さあ、今年も真夏の大音楽祭へ!

グランシップ
音楽の広場2012

coming soon I

輝く静岡の先人展

金原明善と災害から郷土を守った先人たち

coming soon II

子どもたちよ、想像力の羽を天までのばすがよい。

グランシップ 世界のこども劇場2012



「WHILL」

WILL (未来)とWHELL (車輪)の造語から名づけられた、次世代の車いす用電動モビリティ。車いすに装着することで、爽快感と運転の楽しみを持つ「パーソナルモビリティ」に変身させる。半径5キロ圏内を最大時速20キロで移動することが可能となる。2011年秋の東京モーターショーにて発表。

デザイナー

杉江 理

新しいメーカーベンチャーとして
かつてないモノの価値を発信したい。



自分が作ったモノが勝手に世界中を飛び回る。「今や買って使うだけでなく、モノづくりに介入しその環境が面白いと自動車メーカーのデザイン部に。ていく工程を含めて、モノの価値といえる。モノ単体海外を旅するのが好きだという彼らしい視点だ。で勝負することには全く興味がないんです」

退社後はしばし中国などを巡り、帰国して発表 海外で改めて感じたのは、テクノロジーを積んだしたのは車いす用電動モビリティだった。大学で学 ハードウェアこそ、実は日本のお家芸だということ。んだ経営学と製造業での経験値、世界的な視野。 「その分野で新しいメーカーベンチャーとしてのロー そこには公私に渡るすべてのキャリアが生きていた。 ルモデルを構築したいと思っています」

すぎえ さとし

立命館大学経営学部卒。TCA専門学校卒。日産自動車デザイン本部にて、エクステリアデザインを担当。2009年より中国南京にて日本語教師に従事。その後、世界各地に滞在し、デザイン活動する Smile Park design project をスタート。2011年「車いすユーザーから始まるパーソナルモビリティ」をテーマにWHILLを立ち上げ、2011年東京モーターショーにて初号機となるWHILL Conceptを発表。2012年経済産業省「社会参加型のニューグリーンプロダクト創出」委員就任。East Art awardやグッドデザイン賞など受賞多数。1982年静岡県浜松市生まれ。

Contents

次代を創る顔⑤ **2**
デザイナー 杉江 理

しずおかアーティストリレー⑦ **3**
写真家 若木 信吾

SPECIAL-1 特集 **4**

さあ、今年も真夏の音楽祭へ!

グランシップ 音楽の広場2012

coming soon I **10**

輝く静岡の先人展
金原明善と災害から郷土を守った先人たち

series わが羅針 第55回 **11**

鶴澤 清治

「義太夫は、力の芸。」

SPECIAL-2 小特集 **16**

源平の時代はエピソードの宝庫!
伝統芸能で楽しむ「源平」

coming soon II **20**

子どもたちよ、想像力の羽を天までのばすがよい。
グランシップ 世界のこども劇場2012

essay 村松友視の文化漫遊④ **22**

「駿府の『胤八』と四谷荒木町の『たまる』」 画/風鈴丸

Love Granship その、愛すべき美空間 07 **24**

美しき反復が物語るもの「リフレイン礼讃。」

information a-go-go **26~30**

- 公演情報
- Just Finished! / 「シンデレラ シンデレラ」
- プレゼント ●友の会のご案内 ●SPAC NEWS ●TOPICS
- SUPPORTER's VIEW READER's VIEW Editor's room

表紙アート●望月 通陽 作品タイトル:「海から来た人」
人類が「ヒト」へと到った道が果して進化だったのか。そうであるのなら、その進化したはずのヒトがもたらしたこの地球の惨状を、どう受け止めたらよいのか。太古、海を上った最初のヒトたちは、確実に彼等の未来を見誤っていた。

(2007年制作)

しずおか **37**
アーティストリレー

写真家
若木 信吾

次回
クリエティブグループ
Bob Foundation さん



映画「トーテム Song for home」2009年公開
DVD 2900円(税込)

© 2009 youngtree films

毎年湿気の季節になると7年前に台湾の台東に撮影に行ったことを思い出します。そこに住む台湾原住民のアイ族という人達は、とても平和でシンプルな生活をしているように見えました。今この同じ時間に台東ではまた違う暮らしをしている人々がいると思うと、僕が今住んでいる東京でもちゃんと生活しようという気分になります。この映画作品では、彼らと長く付き合っていきたいという気持ちで、一歩でも近寄って撮影しました。

ワカギ シンゴ ●静岡県浜松市生まれ。写真家として幅広い分野で活動中。自ら出版社を立ち上げジャーナル誌や写真集を刊行、映画監督としても国内外から高い評価を得る。2010年4月浜松市に書店「BOOKS AND PRINTS」をオープン。今年4月に「BOOKS AND PRINTS JOURNAL VOL.1」を刊行。

ずっと一緒に暮らせる上等な家具を 「直販メーカー」の特別プライスで



家具メーカーの直営店「オランダ館」には、暮らしを快適にする上質な家具がずらりと並ぶ。直営店ならではの特別プライスで、いいものが安く購入できるのが魅力。1Fでは、職人の高い技術を物語るダイニングセットや、シニア向けの快適家具が出迎える。2Fはオランダ直輸入の伝統的な家具やアンティーク家具が、3Fにはベッドや桐箆笥、テレビ台などが置かれ、全館で暮らしに必要な家具が全て揃う。好みのサイズにオーダーできるアイテムも数多い。デザインや色調など充実するアイテムの中から、安心して長く使える家具を見つけてみよう。

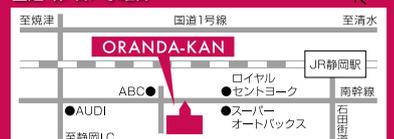


家具・インテリア直売SHOP

起立木工(株)オランダ館
〒422-8561 静岡市駿河区津島町16-20
TEL.054-287-0500

■営業時間 / 10:00~18:00
■定休日 / 水曜日

起立木工 検索



さあ、今年も

真夏の音楽祭へ！



グランシップ 音楽の広場2012

⊕ 2011ドキュメント「音楽の広場」ができるまで

300人の演奏者に、3000人の聴衆という

常識を超えたビッグスケールの音楽祭にド肝を抜かれたのが2008年。

それが5回目ともなると「あ、また、例の音楽祭の季節だね」と

当たり前のように待っている人たちが多数いることにまたまたびっくりしてしまう。

最近では合唱、ダンサーも加わり、出演者は700人近くにもなるとか。

そもそもアリーナに指揮者がまん中。周囲360°をオーケストラが囲んで

さらにそれを聴衆が囲むスタイルのコンサートなんて、なかなかない。ほとんどない。

ゼロひとつ違う大人数による演奏には、呼吸を合わせる上でリスクがあるのだがそれを大迫力にかえることができたときの感動といったら…!

また、ゲスト、趣向を凝らした演奏スタイル、プログラムも魅力のひとつで

「今年はどんな仕掛けが待っているんだろう」と

すすんでそのワナにはまることを楽しみにしているファンも多いようだ。

そこで今号では、すでにレジェンドとなりつつある過去4回をチラリと振り返るとともに

「音楽の広場」がどのようにカタチ作られていくのかもご紹介しようと思う。

2012年の顔ぶれ、曲目とあわせて、ぜひご覧あれ。



2009

大合唱団が加わった第2回!
生オケと子どもたちのダンスの共演は
まさに「威風堂々」!

静岡空港が開港した2009年は、「80日間世界一周」など、旅気分たっぷり。「ふるさと」を歌った後は、観客全員で紙ヒコーキを飛ばす一幕も。総勢200名の合唱団が加わり、「威風堂々」で初めて生のオーケストラと共にダンスを踊ったという子どもたちの目からは涙がキラリ。世界的ソリストが華を添え、金婚式を迎えた天皇皇后両陛下へのお祝いを込めた一曲「金婚式」では、子どもたちによるソロ演奏を用意するなど、見どころ、聴きどころが一層多彩になった第2回だった。

指揮／広上淳一

ゲスト／佐藤しのぶ(ソプラノ)、福田進一(ギター)
森下幸路(コンサートマスター)

客席から一斉に紙ヒコーキを飛ばすラストは爽快でした。さすが、静岡大学の工学部設計による「よく飛ぶ紙ヒコーキ」! 休憩時間中、学生による折り方、飛ばし方のデモンストレーションもありましたね。



2008

オーケストラの中に客席が!
破格のスケールと
前代未聞の試みて驚かせた第1回。

数学や物理技法を用いて注目されたクセナキス作曲「ノモス・ガンマ」では、おそらく世界初という観客席の中で演奏する本来のスタイルで上演。ただでさえ演奏家300人の配置は、組み体操のプランニングのごとく複雑で、指揮者を中心に演奏家を円形に配し、なおかつプログラム途中で観客が移動するという仕掛けは、観客にはうれしいサプライズでも、スタッフにとっては頭が痛い課題。前代未聞のトライに奮闘した第1回だった。

指揮／井上道義、本名徹次

ゲスト／サイ・イェングアン(ソプラノ)、ジョン・ハオ(バス)
バン・インリン(コンサートマスター)

前日リハ中の落雷で照明のプログラミングがババに。さらに急遽ソロ演奏者が交代になったりと、ヒヤリとさせる問題が続出。ただ、演奏家集めに奔走したのは初回だけで、この成功が以降の参加者につながりました。

スタッフの楽しい? 苦い? 思い出とともに振り返る

「グランシップ 音楽の広場」レジェンド 2008-2011

2011

大震災直後に、プログラムを変更。
心のつながり、ふるさとへの思いが
しみわたった第4回。

3月11日の大震災により、予定していたプログラムを大変更。被災地からゲストを招いての民謡「南部牛追唄」、フィギュアスケートで話題になった「ユー・レイズ・ミー・アップ」の朗読&大合唱のほか、「茶摘み」など静岡ゆかりのメドレーを満載した2011年。ピアニストを初めてゲストに迎えたのもこの年。当日は満員御礼の垂れ幕が下がり、人とのつながりの大切さ、故郷のありがたさを実感。音楽の素晴らしさがしみわたる回となった。

指揮／広上淳一

ゲスト／幸田浩子(ソプラノ)、錦織健(テノール)、仲道郁代(ピアノ)
大谷康子・田尻順(コンサートマスター)

震災後のプラン変更にあたふたしましたが、結果としてギョッと締まった回になったと思います。「威風堂々」「不尽の山を望む歌は」はもはやファンおなじみの看板曲に。川勝知事の登場もありました。

2010

大河の名曲とともに甦るテレビ史。
就航先の地域オケのコンサートマスターと交歓し、
静岡空港開港1周年を祝った第3回。

指揮の広上淳一氏がNHK大河ドラマ「龍馬伝」の音楽指揮を務める縁で、「龍馬伝」「赤穂浪士」「篤姫」のテーマ曲を、テレビ史を交えておとどけた2010年。また、静岡空港開港1周年を記念し、国内就航先(札幌・金沢・福岡・熊本・鹿児島・那覇)と地元静岡のコンサートマスターが円形に集い、クライスラー作曲「愛の喜び」で交歓。この年あたりからチケットの出足が早くなり、公演間近にはほぼ完売の状況に。なお、この日の模様は、後日NHK総合で放送された。

指揮／広上淳一

ゲスト／木下美穂子(ソプラノ)、佐野成宏(テノール)
大谷康子・森下幸路(コンサートマスター)

「赤穂浪士」など、大河ドラマの名シーンの演出でご記憶の方も多いでしょう。1926年、ブラウン管に写した「イ」の文字の石碑が、当時、開発に関わった浜松高等工業学校(現・静岡大学工学部)の近くのNHK浜松放送局に保存されているというので写真撮影に走りました。

「グランシップ 音楽の広場」が できるまで

2011ドキュメント



毎年、公演終了と同時に沸き上がる「さて、次は?」という思い。本番に向けての楽しみが大きいだけ、相応のエネルギーも必要なのだが…。ここではバックステージツアーよろしく、本番にこぎ着けるまでの作業を時系列で紹介しよう。

3月

オケ&合唱参加者募集

プロ・アマの演奏者・団体への参加呼びかけがスタート。4回目ともなると、快く参加を表明してくださる方もグンとアップ。

5月

5月1日
チケット
発売開始

4月

選曲▶決定

新たに決定したテーマのもと、音楽監督・演出の渡壁さんを中心に、指揮者広上さんらとともに選曲が進められていく。

2月

(2010)
8月

(2009)
8月

●決定した曲目を編曲

バラエティに富んだたくさんの曲を聴いていただくために、編曲・音楽監修の轟千尋さんと音楽監督による編曲作業が進められる。

●オーケストラ楽譜の準備

演奏者への楽譜発送に向けて待っているのが出演者の楽譜をそろえる大仕事。ライブラリアンの永沼栄子さんが各所から手配した楽譜をグランシップが受け取る。十数曲の楽譜を300人分準備するのにこの日は12時間かかった。

●楽譜の製本・封入&発送手配

準備した楽譜を構成表とともに封入するのも大仕事。管楽器などはファースト、セカンドなどで楽譜が分かれ、楽器も持ち替えなどがあり、封入する楽譜はさまざま。確認しながらの封入作業を、ボランティアにお手伝いいただいて完遂。

●チラシ・ポスター完成!

●舞台のイメージ合わせ

舞台監督の幸泉浩司さんと会場のイメージ合わせ。小道具などの発注も。

●テーマ変更!

大震災を受けて、急遽テーマを変更。「心の絆」「ふるさとへの思い」がいっぱい第4回にしよう!ということに決まった。

●マエストロに依頼

第2回以降、指揮は広上淳一さんが定着。練習中から、次回に向けて交渉を開始している。公演が終わるたび、次回への意欲を示してくださっているが、スケジュール調整も含めて、正式に依頼。今回も快諾を得て、まずはひと安心。

●オケ団体代表と意見交換会

毎回、参加してくださる県内のオーケストラ団体の代表とスタッフとの意見交換会を開く。前回の反省や次のプログラムについてなど。前向きな発言が続々。

●テーマ・ゲスト決定!

指揮者の広上さん、音楽監督・演出の渡壁輝さん、構成の井上頌一さんを交えて、2011年は、「元気・健康」をテーマにプログラムや演出を考えていこう、とのことだったが…。ソリストほか、コンサートマスターも決定!ゲストの顔ぶれが決まると、音楽祭のカタチがぼんやりだが見えてくる。

●まずは会場予約!

会場となる大ホール・海を2年前に予約。設営期間も含めると、公演1週間前からの押さえが必須。さらにオーケストラや合唱の合同練習のための会場も順次予約。



●マエストロから大目玉!

ふだんは「お金がかくかくとわき出るような音で」とか、「ワサビたっぷりのお寿司を食べたようなカンジ」とか、ユニークな表現を連発のマエストロ。だが、この日は情熱の一喝が! 合同練習は毎回5~6時間に及ぶ。

●音楽の広場「たんけんツアー」開催

前回の模様をDVDで鑑賞の後、大ホールの舞台裏を探検。オーケストラとダンススクールの合同練習を見学してもらった。



●チケット全席完売

完売後お客様からの問い合わせが続くため、未販売だった席(C席・立見席)を当日券として販売することに。

●ダンス練習は大詰め

●司会者用台本第1稿上がる

●合唱も練習スタート

合唱指導の南荘宏さんのもと、外国語の歌詞にも苦勞しながら少しずつまとまっていく。また、児童合唱団を担当する小川尚子さんも子どもたちへの指導を進めていく。



8月7日
本番!

8月

7月

S席・A席も
完売

6月

SS席
完売!

●当日 ついに、本番開演!

垂れ幕のトラブルで開場が遅れたが、無事に出帆。この年は総勢700人の出演者を抱え、残念ながら、余りの忙しさに当日の記憶がほとんどない。心に残っているのは確かな感動だけだ。

●終演後 楽しい交流会

指揮者、ゲスト、演奏者たちによる恒例の交流会。公演の成功は、参加者の笑顔が証拠。写真撮影や乾杯が絶え間なく続いて…。



●当日 撤収

達成感を感じながらも、最後の力をふりしぼって会場内の撤収作業を行う。その頭の片隅には2012年へのドラマを想像しながら…。

●設営スタート

●前日 ゲストも加わり、リハーサル

錦織健さんらの美声に合唱団もうっとりしながらも共演。

●前日 チラシ折込作業

当日、お客さんに手渡すパンフレットも3000人分! スタッフだけでなく、グランシップサポーターやインターンの学生にも総動員のもとお手伝いいただく。

●前日 「満員御礼」垂れ幕づくり

早々に完売したお礼を込めて、合同練習の際、演奏家やダンサーも垂れ幕づくりを手伝った。



●グランシップ舞台スタッフも本格始動

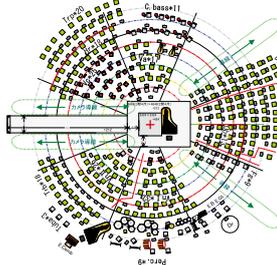
曲目のイメージに合う照明や出演者の演奏に合わせた音響、マイクの準備、お客様の安全に配慮した機材の配線など練習から本番まで細やかな気配りをし、縁の下の力持ちとなって支えてくれる、舞台スタッフ。

●ダンススクール始動

振付の長谷山高士さん、伊興田知子さんほか、参加者が集まったのオリエンテーション&レッスンを開催。

●オーケストラ練習始まる!

副指揮の米津俊広さんのもと、練習が中ホール(第2回以降は大ホールを使用)でスタート。練習とはいえ、オケも合唱団も大所帯。座席の配置準備は、日本トップクラスのステージマネージャー上原正二さんの職人技で、美しく仕上げられていく。





そして、
今年はこの顔ぶれ、
こんなプログラム！

今、もつともホットな
マエストロのもとへ、
県内外から腕に覚えの参加者
続々。

さて、第5回を数える今年の「グランシップ音楽の広場」の制作がつつがなく進行しているのであれば、この冊子が発行される頃には、一般参加者(プロ・アマ)によるオーケストラと合唱、それぞれの合同練習がスタートしているはずだ。もちろんまとめるのは熱血指導で知られる広上淳一マエストロ。細部まで引き締まった音づくりをする氏の汗が、初日からほとばしる様子が見えるようである。



JUNICHI HIROKAMI

【指揮】
広上 淳一

東京音大指揮科卒業。第1回キリル・コンドラシン国際青年指揮者コンクール優勝。以来、欧米におけるメジャー・オーケストラに客演。91～95年ノールシヨピング交響楽団、98～00年リンブルク交響楽団の各首席指揮者、97～01年ロイヤル・リヴァプール・フィルハーモニー管弦楽団首席客演指揮者、91～00年日本フィルハーモニー交響楽団の正指揮者を歴任。06～08年には米国コロンバス交響楽団音楽監督を務めヨーヨー・マらとともに数々の名演を残した。オペラ指揮でも評価が高い。08年4月より京都市交響楽団常任指揮者。



MAMI KOSHIGE

【ゲスト】
ソプラノ 腰越 満美

オペラほか、日本歌曲など、幅広いレパートリーを持つ、注目のソプラノ。東京コンセルヴァトワール尚美ディプロマコース、二期会オペラスタジオ修了(最優秀賞及び川崎静子賞受賞)。文化庁芸術家在外派遣研修員としてイタリアにて渡り、ヨーロッパ各地で活動。新国立劇場オープニング記念オペラ「建TAKERU」ほか、多数出演。二期会会員。東京生まれ。



TOSHIYUKI KATO

【ゲスト】
テノール 加藤 利幸

名古屋芸術大学大学院音楽学部オペラ研究科 首席修了。同大学院同学部同科実技補助員。第37・38回「イタリア声楽コンクール」金賞及びテノール特賞受賞。「マダム・バタフライ世界コンクール」ディプロマ入賞。「ラ・ボエーム」ロドルフォ役、「アイーダ」ラダメス役をはじめ、オペラで主役を演じる。三重県生まれ。



このゲストだから、このプログラム。中国からのゲスト楽団も。

そして、この大オーケストラ、大合唱団に華を添えるのが、2人のオペラ歌手、2人のヴァイオリニストだ。

今年のテーマ「アンチグローバルバリズム」のもと、日本を代表するソプラノとテノールは、プッチーニの誰もが知る名曲を歌い上げ、実力派と若手によるヴァイオリニストが、世界各地で愛される佳品で競演を果たす。さらに静岡県と中国、浙江省との友好提携30周年を記念して、浙江交響楽団も特別参加という仕掛けだ。

「音楽の広場」のラストはやっぱあの歌を一緒に!

最後はもちろん恒例のあの合唱である。

それはホルストの組曲「惑星」より「木星／ジュピター」(平原綾香の歌で知る人も多いのでは?)のメロディーに山部赤人の歌詞をあてた「不尽の山を望る歌」だ。客席の私たちも背筋を伸ばし、この歌を共に蕩々と歌うとき、音楽のすばらしさ、静岡に生きる幸せを感じずにはいられない。高さ58メートルの大空間はこのためにあつたのかと思うほど、「生きた音楽」に包まれるひととき。それはどんなコンサート、どんな音楽祭とも違う、特別な機会だ。

予定曲目

クラシックの名曲を存分に

- ・スメタナ：交響詩「わが祖国」よりヴァルタヴァ(モルダウ)
- ・チャイコフスキー：祝典序曲「1812年」
- ・黛敏郎：饗宴

浙江交響楽団と300人のオーケストラの共演!

- ・ヘンデル：組曲「水上の音楽」より アラ・ホーンパイプ

大谷康子&長尾春花 ヴァイオリンお楽しみ競演

- ・マスネ：タイスの瞑想曲
- ・クライスラー：ウィーン奇想曲、クライスラー名曲集

腰越満美と加藤利幸の熱唱で オペラの魅力に酔いしれる

- ・プッチーニ：「蝶々夫人」より「ある晴れた日に」、
「トゥーランドット」より「誰も寝てはならぬ」
「トスカ」より「歌に生き恋に生き」
- ・ヴェルディ：「リゴレット」より「女心の歌」

ふるさとをたたえ、みんなで大合唱!

- ・不尽の山を望る歌

YASUKO OHTANI



©尾形正茂

【ゲスト】

ヴァイオリン/コンサートマスター 大谷 康子

人気・実力ともに日本を代表するヴァイオリニスト。東京芸術大学、同大学院博士課程修了。全日本学生音楽コンクール全国第1位。シェリング来日記念コンクール第2位。国内外のオーケストラのソリストを務めるほか、メディアにも出演。2010年度「文化庁芸術祭大賞」受賞。東京交響楽団ソロ・コンサートマスター。東京音楽大学教授。使用楽器は1708年製ピエトロ・ヴァルネリ。

HARUKA NAGAO



【ゲスト】

ヴァイオリン 長尾 春花

江藤俊哉ヴァイオリンコンクールジュニアアーティスト部門最年少第1位。第5全日本学生音楽コンクール全中学校の部第1位、毎日中学生新聞賞日本音楽コンクール第1位、ロン・ティボー国際コンクール第5位ほか、都築音楽賞、兎東賞、東儀賞など。受賞歴多数。これまでに国内外のオーケストラと共演。現在、東京芸術大学音楽学部在学中。静岡県出身。

MASAAKI HORIO



浙江交響楽団

管弦楽／グランシップ音楽の広場オーケストラ
合唱／グランシップ音楽の広場合唱団
ダンス／グランシップ音楽の広場ダンスクルー

【司会】

堀尾 正明

グランシップ 音楽の広場

チケット
発売中

8/5(日) グランシップ 大ホール・海

15:00開演 (14:15開場)

SS席 3,500円 S席 3,000円 A席 2,500円 B席 2,000円
学生・子ども(4才～大学生)1,000円

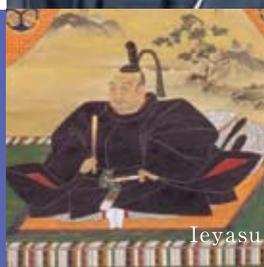
命を守るために
命をかけた
男たちがいた



Meizen Kinpara



Kazuuji Nakamura



Ieyasu Tokugawa



Kazutoyo Yamauchi

「金原明善」—初めて目にする名前かもしれない。しかしこの男こそ天竜川流域を自然災害から守った救世主。治山・治水に一生を捧げた偉人として今も高く崇められている。

天保3年6月7日(1832年)、遠江国長丘郡安間村(現浜松市東区安間町)名主の家に生まれた明善は、天竜川の洪水で苦しむ人たちのために、堤防を築き、上流に植林をするなど治山・治水に大きな功績を残した。他に出獄人保護事業(更正保護事業)、森づくりの指導など、明治維新から大正時代にわたり社会貢献活動に取り組み、近代日本の発展の礎をつくりあげた。明善のように全財産を投げ出してまで公共のために尽くす人間は、おそらく今の時代では稀であろう。

歴史を遡ればなるほど静岡にはヒーローが多にいる。大井川の河川改修に尽力した山内一豊・中村一氏。薩摩土手を築造して洪水から駿府を守った徳川家康。富士川の氾濫を防ぐために雁堤を作った古郡重高・重政・重年。彼らは地震、津波、洪水、土砂崩れなど、幾度となく繰り返す自然の猛威に決して屈することはなかった。

明善をはじめ郷土・静岡を救った先人たちの足跡を辿れば、そこに人間の計り知れない感動のドラマがあるはずだ。そして彼らが残した防災技術を探ることで、防災の未来像が映し出されるに違いない。さあグランシップへ。今まさに現代人に勇気と指針を与えてくれた彼らの英知の扉が開かれようとしている。

平成24年度「輝く静岡の先人展」

金原明善と
災害から郷土を守った先人たち
グランシップ6F展示ギャラリー

8/1(水)~19(日)

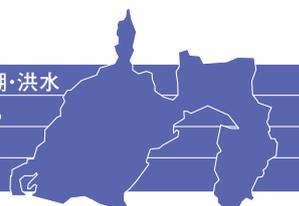
【入場料】 一般300円

【無料対象】 学生(大学生以下かつ28歳以下)及び
身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者福祉手帳を
お持ちの方

【その他の割引】 団体(10名以上)、グランシップ友の会会員は250円

展示内容

静岡県と自然災害—地震・津波・大潮・洪水
災害から郷土を守った先人たち
災害に備える
文化遺産を伝える



鶴澤清治

義太夫は、力の芸。

「太夫と三味線は、互角にぶつからないと駄目なんです。縁の下の力持ちだけでは生きてこない。」

それはもう、力の芸ですからね。

エネルギーが充ち満ちていなければ。

互いに目一杯の力で激突する。そこが魅力ですから。」

清六と弥七。二人の師匠。

開演間近に楽屋入りし、終演後はパッと帰る。それが長い公演で緊張感を維持するコツなのだそう。この日も袴姿からあつという間にスーツに着替え、取材場所に登場。文楽界最年少での人間国宝認定など、才長けた経歴と舞台上での「闘いぶり」から、怖ず怖ずと始まった取材に、氏はユーモアを交え、丹念に答えてくださった。そして、終わるや否や席を立つ氏にお土産を渡そうと係が追うと、すでにその姿は廊下の先。実に見事なハケぶりであった…。

— グランシップでは、毎回文楽の公演に先立ち、静岡出身で元NHKアナウンサーの山川静夫さんが事前レクチャーを務めて

くださっています。その山川さんが鶴澤さんの八歳の舞台を覚えておっしゃっていました。記憶にとどめるほうも、とどめさせるほうも、どちらも凄いのだと思います。

「いやいや、それは単に僕が身体よりも大きな三味線を弾いていた、ということ。印象深かったんだと思います。三味線には子ども用はなく、大人と同じものを使うんです。普通、調子を変えるときは、三味線の上方のネジを回して調弦するんですが、子どもには手を伸ばすのが一杯で、力を入れて調整するのは難しいわけです。それで初舞台の『三番叟』では、義父が後ろで構えていて、調子を下げるときに後ろからニツツと手を伸ばして合わせてくれました。子どもの三味線弾き自体が珍しかったので、当時は取材もたくさん受けましたよ。三味線を弾くのは嫌でしたが、取材を受けるのは好きでしたね(笑)。」

「早々のデビューでしたが、大学で法学部を専攻されたということは、ほかの道もお考えだったのですか。」
「というわけでもなくて、同じ大学に(豊竹)咲大夫が一つ先輩(竹本)住大夫さんもずっと上の先輩としておられたので、僕も行ってみようかなと。そのくらいいい加減なものです。そもそも三味線は嫌だからといって、今の世みたいにやめるわけにはいかなかった。半ば強制的ですよ」

「では、三味線を一生の道とお決めたのはいつ頃のことですか。」

「十八の頃ですかね。僕は七歳で鶴澤清六という名人のもとに入門したのですが、僕が十五のときに清六師匠が亡くなって、三年ほどフラフラしていません。それを見かねた義父の(鶴澤)道八が、こうなったら(竹澤)弥七さんに預けるしかない。そうなる僕としてももう逃れられない、やるしかないというわけで、これが覚悟といえは覚悟なのでしょうけれど。」

「鶴澤から竹澤へとなると、流派を跨いだ弟子入りということになるのでしょうか。」
「そうなんです。正直、決して仲がいいとはいえない間柄だったんですけど、そこが義父の偉いところでね。おかげで道八は大したものだ、よくぞ敵のようなところに預けたものだ、周囲から随分褒めてもらっていました。僕としても弥七師匠のところに弟子入りできたのは幸運だったと思っています。」

「それはどのような修業時代でしたか。」
「それはもう愛情をもって懇切丁寧に教えていただきましたよ。そして、常に課題というか宿題を僕に与えてくださるわけ。だから、興味をつないでいけた、目標が持てたというのはあると思います。清六師匠と弥七師匠、この名人二人のもとで得たものが、僕の三味線の大半を成しているといってもいいでしょうね。」

「そのお二人を題材にした作品を手がけられていますね。」
「清六師匠がモデルとされる有吉佐和子さんの『一の糸』は、僕の脚本と演出、作曲

で紀尾井ホールで演りました。だから、第二の師匠である弥七師匠の物語もぜひ演りたいと、山川さんに台本を書いてもらったんです。それが『弥七の死』です。」

「プロファイルの中で必ずといっていいほど大きく取り上げられるものに、人間国宝、竹本越路大夫さんの相三味線に若くして



厳しい鍛錬を刻みながらも、その手は至極端正で凛としている。それはボーカフェイスで闘う舞台上の氏の姿に重なる。

方でしたので、微に入り細に入り注意していただきましたよ。真剣勝負の毎日が苦しみであり、楽しみでもありましたね。」

「現在は、ご自身も無形文化財保持者(人間国宝)でいらつしやいますか。」
「これは巡り合わせですよ。人間国宝でなくても、僕なんかより素晴らしい方はいらつしやる。越路師匠に弾かせていただいたことなども、評価のうちにに入れていたのかもしれないですね。」

三味線は、手綱を引く女房役。

「ところで舞台上の太夫には見台に床本があるのに、三味線には何も置かれていないのですか。」

「ね、理不尽でしょう?(笑)クラシック音楽の世界を見ても、歌う人はだいたい暗譜で、ソリストは別にして、楽器を弾く人の前には楽譜がありますよね。浄瑠璃がなぜ、そういうスタイルになったのかというと、それは昔、目の不自由な方が琵琶を弾いていたからだといわれています。でもね、覚えるのは本当に大変なんです。普通の音楽なら一曲ごとに違うから、最初の音が出れば先が続くということがあるけど、三味線はパターンを組み合わせたから覚えにくい。歳をとれば尚更ですよ(笑)。」

「また、太夫との関係を夫婦に喩えて、三味線は女房役だといわれます。素人目には三味線に手を引かれるようにして謡っていく太夫のほうが見えることもある

フラメンコにはギター、バンソリにはブクと、固有の楽器と結びついた芸能は世界にも見られるが、文楽における三味線の魅力とは何か。「それはやっぱり音色の多様性でしょうね。どんな情景も描ける。それが三味線の一番の魅力だと思います。」

【つるさわせいじ】

義太夫節の三味線方。三味線方だった養父（鶴澤道八）のもとで三味線に親しみ、1953年7歳で四代目鶴澤清六に入門。鶴澤清治と名乗る。翌年四ツ橋文楽座にて「寿式三番叟」で初舞台。師の没後は、養父に師事。64年十代目竹澤弥七に入門。76年に「勘平腹切の段」で四代目竹本越路大夫（人間国宝）を弾き、以来、89年の大夫引退公演までの13年間、全50段を勤める。東京・大阪をはじめ、地方公演にも精力的に参加し、弟子と後進の指導と育成にも尽力。その他、代表作に近松門左衛門作「用明天王職人鑑」など。09年のシェイクスピア原作「天変斯止嵐后晴」（てんべすとあらしのちはれ）では、作曲も勤めた。近畿大学法学部中退。72年芸術選奨文部大臣新人賞、96年国立劇場文楽賞文楽大賞、99年モービル音楽賞邦楽部門、2004年日本芸術院賞恩賜賞ほか受賞。また、06年紫綬褒章受章、07年7月重要無形文化財保持者（人間国宝）認定。45年大阪府生まれ。



のですが。

「三味線のほうが太夫よりちよつとずつ先行しているわけで、それに太夫がついていくというのが基本です。でもね、浄瑠璃は太夫が立たなくてはいけない。そういう意味でいかに太夫から力を引き出すか、表現力を加えるか。そこを三味線が担っていかなければいけない。一人で一時間以上も大声で謡うわけですから、疲れてきたなと思ったらフォローしたり、逆に気持ちよく謡わせてあげたりと手綱を引く。前へ出るときもあるし、陰で支えるときもある。三味線はやっぱり女房役ですよ。」

ルギーが充ち満ちていないと駄目です。それはもう、力の芸ですからね。だから太夫の目一杯の力と、三味線の目一杯の力がドーンと激突する。そこが魅力ですからね。そういう人が昨今少なくなっているかなというのがありますね。」

「子どものときから習ってきたことは、太夫と三味線は激突しなければ駄目だということ。互角にぶつからないと。だから、縁の下の力持ちだけでは駄目なんです。それじゃあ、生きてこない。三味線弾きも太夫を刺激するようにドーンとぶつかっていく。

「『テンペスト』では、嵐の場面で十七弦を使ったり、半琴を効果的に用いたり、自分にとつても新鮮な試みになりました。来年は『ファルスタッフ』を演じますよ。三十年ほど前にロイヤル・シェイクスピア劇団のこれをテレビで観て、(尾上)松緑さんに狂言仕立てで演ってもらえたらなあと思っていたんですが、残念ながら亡くなってしまつて……。しかもその後、『ファルスタッフ』が狂言で上演されたことを知りましたので、今、別の仕立てを考えているところです。」

を刺激するようにドーンとぶつかっていく。助けてばかりではなく、場合によっては太夫の足を引っ張るようなこともあつて、それが嫌だとなれば、いくら素晴らしい太夫でも一緒に演れないわけです。ちなみに越路師匠はすり寄るような三味線が大嫌いでしたけれどね。」

唯一の文楽鑑賞機会でもあります。鶴澤さんには毎年ご登場いただいておりますが、今年は『桂川連理柵』より(道行麿の桂川)で三味線をお聴かせいただけるとのこと、楽しみにしています。

「では、今のお立場から、魅力的な太夫とはどんな太夫だと思われませんか。」

「この作品では、四十近い呉服屋の主人との恋に落ちた十四、五の娘お半の純粹さ、かわいさが見どころだと思います。グランシップは、劇場としては文楽には少し大きいですが、通常の文楽とは違う座組をお楽しみいただけたらうれしいですね。」

10/14 ① 7/8日チケット発売

グランシップ伝統芸能シリーズ
人形浄瑠璃 文楽

昼の部 **13:30開演(13:00開場)**
「桂川連理柵 ~六角堂の段 ~帯屋の段 ~道行麿の桂川」

夜の部 **18:30開演(18:00開場)**
「二人禿」「義経千本桜」~すしやの段

グランシップ 中ホール・大地
全席指定 / 一般 3,500円 昼夜通し券 6,300円 学生 1,000円





鞠福 濃い抹茶大福

2012年モンドセレクション 3年連続金賞受賞

モンドセレクションとはベルギーの民間団体が行う、食品分野を中心とした品評会。1961年から50年間続いている歴史あるコンテストにして、世界各地の最上品質の更なる向上を目的としています。

そのモンドセレクションにおいて
2010年・2011年・2012年
3年連続金賞を受賞しました。

鞠福 濃い抹茶大福



鞠福 生クリーム大福

2009年・2010年・2011年
3年連続金賞を受賞しました。

鞠福 ほうじ茶生クリーム大福



鞠福
まりふく

静岡発、
お茶屋のつくる
こだわりのお菓子。
お茶屋の作った生クリーム大福。
口の中でとろーりとしけるお餅。
舌の中で滑らかに、ひんやりと溶け合う、
優しい甘さのこし餡とたっぷり入った
生クリームの3重層。

雅正庵

本部
静岡市駿河区向敷地1198-1
TEL.054-669-5057 FAX.054-259-6824

インターネット直販店もご利用ください。

雅正庵

検索

千代田本店
静岡市葵区千代田7丁目1-47
TEL.054-267-3008

宮竹店
静岡市駿河区宮竹1-19-18
TEL.054-238-8885

焼津西小川店
焼津市西小川6丁目5-1
TEL.054-620-7800

ベイドリーム清水店
静岡市清水区駒越北町8番1号ベイドリーム清水1F
TEL.054-368-7380

遠鉄店
浜松市中区旭町12-1 遠鉄百貨店新館B1F
TEL.053-457-6515

松坂屋静岡店
静岡市葵区御幸町10番地の2本館B1F
TEL.054-205-2019

伝統芸能で

源平の時代はエピソードの宝庫！

Heishi



Genji



ハレを意味する「紅白」。縁起物に用いられる紅白の起源は諸説あるが、最も多く語られている説は、紅白のルーツを源平合戦にあるとするものだ。まだ旗印がなかった当時、平氏が紅旗を、源氏が白旗を掲げて戦ったことから、日本の伝統的な配色として用いられるようになったといわれている。



歌舞伎・能・文楽。

今年度のグランシップは源平づくし！

今年の大河ドラマ「平清盛」を例に引くまでもなく源平の争乱に材を求める作品は実に多い。

日本人の源平好きは今に始まったことではなく紅組と白組に分かれての戦いも

源氏の白旗、平氏の赤旗がそもその始まり。

そして、歌合戦や運動会が通例になるずっとずっと昔からゆかりの作品が能楽や歌舞伎、文楽の世界で

人気を博していることからそれはよくわかるだろう。そこでグランシップでは今年度の伝統芸能シリーズを

源平づくしでお届けすることとした。

六月の歌舞伎「俊寛」に始まり、能楽、文楽と一年を通じてさまざまなエピソード、物語が楽しめる仕掛けだ。

一門の存亡を賭けた戦いの波間に浮かぶ主従や家族の愛、恨みや哀しみ、死生観…。

能楽や文楽は初めてだから、と”びびる”ことなくぜひ、この機会にお楽しみを。

ちなみに”びびる”とは、元来、鎧が触れあうびんびんという音のこと。富士川の合戦の際、平氏軍が一斉に飛び立つ水鳥の羽音を

源氏勢のびびる音と勘違いして、おびえ逃げたことから後世”震え上がる”意味に使われるようになったのだという。

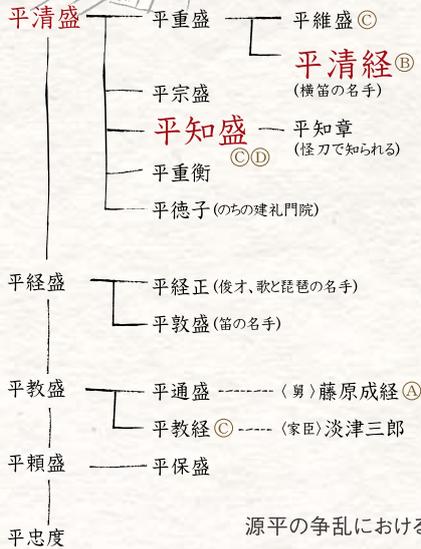
楽しむ「源平」

源平相関図

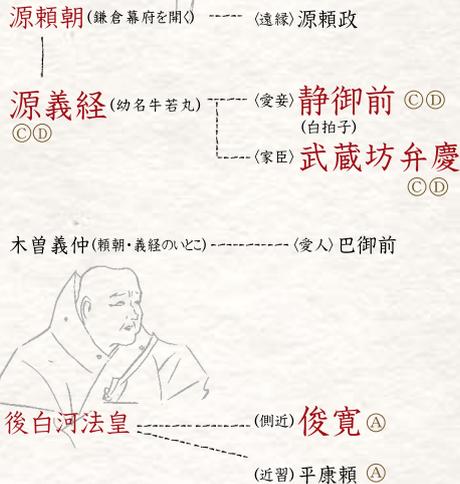


平氏

平清盛



源氏



源平の争乱におけるキーパーソンは、平清盛。
 時の帝、後白河法皇を幽閉し、武士として栄華を極め、
 揺るぎない平家政権を築いた清盛に対し、
 打倒平家の声を挙げたのが後に鎌倉幕府を開く源頼朝だ。
 日本史上ではほんの短い期間だが、
 個性豊かな人物たちが実に多い。

源平にまつわる史実と演目の例。

寿永三 1184

平家の西国逃亡
 平清盛亡き後、平氏は木曾義仲に敗れて西国へと都落ちする。
 【関連人物】平家一門
 能「清経」
 宇治川の戦い
 都落ちの平家に代わり、義仲が入京するもやがて後白河法皇と不仲になり逆賊に宇治川の戦いで源義経に敗れ、義仲は自害する。
 【関連人物】源義経、木曾義仲、巴御前
 能「巴」

治承四 1180 治承元(安元三) 1177

鹿ヶ谷事件
 栄華を極める平清盛を亡き者にしようとする俊寛僧都が企てた殺害計画。
 【関連人物】平清盛、俊寛
 能・文楽・歌舞伎「俊寛」(平家女護島)……次ページ参照
 以仁王の乱
 前年、クーデターにより後白河法皇を幽閉した平清盛に対し、法皇の第2皇子以仁王(もろひとわ)は源頼政とともに挙兵が、善戦虚しく敗れ、頼政は自害する。
 【関連人物】平清盛、以仁王、源頼政
 能「頼政」
 南都焼き討ち
 福原遷都を試みるなど、反平家勢力への対策を講じる平家に対し、伊豆では源頼朝が木曾で源義仲(木曾義仲)が挙兵。富士川での戦いに敗れた平氏軍に清盛は息子、重衡に南都焼き討ちを命じる。
 【関連人物】平清盛、平重衡

元暦二 1185

屋島の戦い
 ノ谷で敗れた後も瀬戸内一帯を制する平氏一門に、源頼朝は義経に敵の本営屋島攻略を命じ、見事攻略。平氏は海上に逃れる。
 【関連人物】源義経、平教経
 能「屋島」
 壇ノ浦の戦い
 栄華を極めた平家が源義経を総大将とする源氏軍に敗れ、滅亡に至った源平最後の戦い。
 【関連人物】源義経、平宗盛、平知盛
 能「碓渚」
 義経都落ち
 義経は京に凱旋するが、後白河法皇と親密になつたことから兄頼朝の不興を買ひ、やがて都落ちする。
 【関連人物】源義経、源頼朝
 文楽・歌舞伎「義経千本桜」……次ページ参照
 能「船弁慶」……次ページ参照

寿永三 1184

一ノ谷の戦い
 源義経の一軍は、再挙を図る平氏をノ谷に誘い、海上に敗走させる。鶴越(ひよどりこえ)の奇襲が有名。
 【関連人物】源義経、平知章、平教盛、平通盛、平経正、平忠度
 能「忠度」
 能「敦盛」

源平ゆかりの物語はこちら。
そして、秋から楽しめる

西国に逃れる平氏と、追う源氏。

そうした中、入水自殺した横笛の名手・平清経の

心象風景と舞が魅力の一曲。

きよつね
能「清経」

あらすじ

平清経が西国の海に身を投げたため、淡津三郎は清経の妻に遺髪を届けにくる。先立った夫を恨み悲嘆した妻は、遺髪を八幡宮に返す。あるとき妻の夢枕に清経の霊が鎧姿で現われ、横笛を奏でつつ、思いを振り切って自ら死を選んだ経緯を話して聞かせる。神仏に見はなされた運命に絶望し、入水自殺をしたのだったが、死後の修羅道の惨状はさらにすさまじいと語る清経。そして、最後は念仏によって救われる。

みどころ

「平家物語」に材を求めたもので、世阿弥が書いた曲の一つ。亡霊のシテ(主人公)が妻の夢に現れるという設定。自ら死を選んだ清経の心象風景と、地謡、囃子、舞による情景描写が見どころ。



清経(©前島吉裕)

初めて能楽を観る人にもわかりやすい解説つき!

グランシップ静岡能「能楽入門公演」 **要事前申込 応募期間7/1~8/15**

9/23(日) 中ホール・大地 14:00開演

◎全席指定 / 1,000円

◎出演 / 観世流能楽師

◎事前申込制 / 往復はがきに住所・氏名・電話番号・参加人数(4名まで / 小学生以上)を明記し、返信欄にも住所・氏名を明記の上、下記宛お申し込みを。(応募期間7/1~8/15、応募者多数の場合は抽選)
〒422-8005 静岡市駿河区池田79-4 グランシップ「能楽入門公演」係

壇ノ浦で散ったはずの平維盛が生きていたら…。

平家一門に心を寄せる家族の愛を

語り、三味線、人形が描く名場面。



義経千本桜 すしやの段(©青木信二)

よしつねせんぼんざくら

文楽「義経千本桜」

～すしやの段～

あらすじ

すし屋には弥左衛門と女房のお米、娘お里、手代弥助が暮らしている。そこに夜の宿を求めて平維盛の妻若葉の内侍とその息子六代の君が現れ、弥助の正体が維盛と皆に知れる。平家探索の手が迫るのを知り、急ぎ戻る弥左衛門。その間、勤当中の息子権太が母に無心をして出て行く。弥左衛門は維盛一家を逃そうとするが、追っ手梶原景時の前に権太が一家を捕らえてくる。絶望と怒りで権太を刃で刺す弥左衛門。実はすべて身代わりで命がけの親孝行だったのだ。維盛一家は救われるが、権太は絶命。お里は婚約者を失う。

みどころ

平知盛が生きているという設定で書かれているのが「義経千本桜」二段目。さらに平維盛も生きていたら…というのが三段目で、家族愛にあふれた名場面だ。もともと文楽の作品で、太夫の語りと三味線、そこに人形が加わり、すばらしい世界が展開される。

県内唯一の文楽鑑賞機会! 「義経千本桜」は夜の部で。

人形浄瑠璃 文楽 **7/8チケット発売**

10/14(日) 中ホール・大地

昼の部 / 13:30開演 夜の部 / 18:30開演

◎一般 3,500円(昼夜通し券 6,300円) 学生 1,000円

◎【昼の部】「桂川連理柵 ~六角堂の段 ~帯屋の段 ~道行籠の桂川」

◎【夜の部】「二人禿」「義経千本桜」～すしやの段

◎「わかる! 文楽入門講座」開催

文芸フォーラム 静岡

文学賞、文学塾、朗読、パーティ…。 愛好と創作の波紋を幾重にも。

自伝的小説「銀の匙」で知られる中勘助は、五十代の終わりから五年ほどの間、静岡市の服織に静養に来ていた。自らが住む離れを「杓子庵」と呼んでいたそうだが、その庵は現在、中勘助文学記念館として開放されている。文芸フォーラム静岡が毎年主催する「杓子庵文学賞」は、そうした文芸的風土に相応しい気概をもった賞だ。今年で十七回を数え、会員以外からの応募も多いと聞く。さらに

興味深いのは、本団体では、自作の詩や短歌、俳句を伴奏つきで読む、歌うなどして楽しむ「リーディングパーティー」や「おもしろ文学塾」など、文芸に親しむ入口を身近に幾つも設けていることだ。中勘助は、静岡に滞在中、服織中学校の校歌も手がけており、それは「美しきはほとりの峡よ、山なみしずかに、水清く、百鳥の声にみつゝ」の詩で始まる。その一節の如く、清らかな水面に波紋を広げ、文芸に親しみ、創作の心を喚起し続ける振興活動に今後、も期待したい。



ぶんげいふおーらむしずおか

- 団体名 / 文芸フォーラム静岡
- ジャンル / 文芸(俳句、短歌、詩、戯曲、随筆、創作)
- 会員数 / 130名
- 設立 / 1996年
- 代表者 / 谷川 昇
- 活動拠点 / 静岡市
- 活動エリア / 中部地区
- 実績 / 杓子庵文学賞(年1回)を開催。文芸誌「鳳羅夢」、会報紙(年3回)の発行。本の出版。朗読会・文芸教室の開催など。数多くの文芸コンクールで受賞者を輩出。平成13年度地域文化活動賞受賞。

誰もが知る義経、静御前、弁慶が登場。

優美な前場と、荒ぶる後場。

緩急に富んだ物語を堪能したい!



船弁慶(©前島吉裕)

能「船弁慶」 ふなべんけい

あらすじ

兄頼朝と不仲になった源義経は都を追われ、弁慶ら家来を伴い、大物浦に逃れる。恋人の静御前を連れているのは望ましくないと義経を説得した弁慶は、都に帰るよう静を説得。別れの酒宴に静は舞い、悲しみにくれる。義経一行が海上に船を漕ぎだすと、風が一変し荒れ始めた海上に、壇ノ浦で滅んだ平家一門が浮かび上がる。長刀を手に襲いかかる平知盛の霊に、太刀を抜く義経。弁慶が呪文を唱えるとやがて霊は退散する。

みどころ

前半は静御前と義経の哀しい別れ、後半は船頭の奮闘ぶりや知盛の霊と弁慶の対決と劇的な場面構成され、見どころは多彩。シテは静御前と知盛の霊という異なる2つの対照的な役柄を演じ分ける点にも注目したい。

清盛の恩赦に浴することができず

ひとり孤島に残される流刑者、俊寛。

あふれる絶望感に能の妻みを観る!

能「俊寛」 しゅんかん

あらすじ

平清盛の娘・中宮が懐妊し、安産祈願の恩赦が行われることに。鬼界ヶ島に流刑となっていた丹波少将成経と平判官康頼は、熊野三社に似せた社に詣でた帰り、同じく流刑者である俊寛が迎えに来て、水と酒と見立てて酌み交わす。そこへ都からの使いが来て、恩赦の書状を渡すが、そこに俊寛の名はない。もう一度読み返してももちろん名はなく、絶望にうちふるえる中、孤島に一人寂しく取り残されるのだった…。

みどころ

能では基本的に生きている男性を演じるときは面を用いないが、この演目は俊寛の専用面を用いる。6月の「国立劇場 歌舞伎鑑賞教室」でも上演された演目で、今回は能ならではの動きによる深い絶望感が見どころ。能の表現の凄みが感じられる一曲。

新春の吉例は、源平づくしの能二番と狂言一番!

グランシップ静岡能 10/21チケット発売

平成25年 1/27(日) 中ホール・大地 14:00開演

◎全席指定 / 一般 5,000円 学生 1,000円



子どもたちよ。
想像力の羽を天までのぼすがよい。

グランシップ 世界のこども劇場 2012

夏休みお馴染みの

「グランシップ世界のこども劇場」。

今年も粒ぞろいの演劇、パフォーマンスが

世界をあちらこちらからやってくる。

0歳から大人まで存分に楽しめる上質なステージは、

国や人種、言葉の違いを超えて

子どもたちの想像力をビビッと刺激するに違いない。

この夏必見！

オモシロ不思議な劇場へ行こう！



昨年の様子

グランシップ 世界のこども劇場2012

7/27(金)・28(土)・29(日)

中ホール・大地、6階交流ホール、芝生広場 **全席自由**

1ステージにつき／おとな1,000円 1歳～中学生500円

グランシップ世界のこども劇場2012 タイムスケジュール

	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00
中ホール大地			●サティさん					●クレーブ・クレーブ		
交流ホール(6F)			●ホワイト	●ストーン		●ホワイト				
芝生広場	●ひつじ								●ひつじ(27・28日のみ)	
リハーサル室						●ひつじワークショップ(27・28日のみ)				



サティさん
(ザ・アトフリシアター: ホーランド)

対象年齢: 1歳~
フランスの作曲家エリック・サティに想を得たひとときでは、ピアノの音とともにゲームや謎解き、紙を使った世界が繰り広げられる。乳幼児から楽しめる作品。

7/27(金)~29(日) 11:30~12:05
会場: 中ホール・大地



ひつじ(コバス: カナダ)

対象年齢: 0歳~
世界中の子どもたちをとりこにするパフォーマンス/羊たちの奇妙な行動が誘う、おかしな世界へようこそ。

7/27(金)~29(日)
10:00~10:30/17:30~18:00
※29日は10:00~の回のみ
会場: 芝生広場
※天候等の理由により会場が変更になる場合がございます。



クレープ・クレープ
(ショック・トリオ: フランス)

対象年齢: 5歳~
クラウン兼音楽家たちがおくる、おかしな音楽劇。二人のクラウンがクレープ屋さんの屋台で見つけたのは小さな卵。あっ、注意しないと落として割ってしまいそう…。なんとが割らないようにと一用懸命になる姿がとってもコミカル。

7/27(金)~29(日) 16:30~17:20
会場: 中ホール・大地



ホワイト
(キャサリン・ウィールズ/
ブラントン・シアター: イギリス)

対象年齢: 2歳~
白の世界が美しいスコットランドから。大人たちも思わず魅了される鳥の世話をし守る二人の物語。

7/27(金)~29(日)
11:30~12:15/14:30~15:15
会場: 6階交流ホール



ストーン
(EL TEATRE DE L'HOMME DIBUIXAT:
スペイン)

対象年齢: 2歳~
生命のない物体を通して、子どもたちの想像力を目覚めさせるパフォーマンス。

7/27(金)~29(日) 13:30~14:00
会場: 中ホール・大地

ユニークな動きで釘付けになるひつじたち、そして鳥を守るおもしろいおじさんたち。そんなにも楽しいパフォーマンスが見られるのは3日間だけ。もちろん毎日来ても決して飽きさせません。感謝観劇! さあ、子どもたちに一生の思い出をプレゼントしてあげよう。



馬をくれ、馬を!

馬のかわりにわが王国をくれてやる!



子供のための **リチャード三世**
シェイクスピア

8/1(水) 中ホール・大地
19:00開演(18:30開場)

一般...4,000円 大人ペア...7,000円
学生...1,000円 親子ペア...4,500円

全席指定

作: ウィリアム・シェイクスピア ~小田島雄志翻訳による~
脚本・演出: 山崎清介
キャスト: 伊沢唐紀 / 佐藤誓 / 山口雅義 / 戸谷昌弘 / 若松力 / 山崎清介

1995年に誕生して以来、大人から子どもまで多くの人々を魅了してきた「子供のためのシェイクスピア」は大変人気の高いシリーズ。一度観ればもう夢中大人も病みつきになる。シェイクスピア劇の膨大なセリフは整理され実にわかりやすく、木製の椅子と机だけのシンプルな演出で、観るもののイメージをふくらませてくれるからだ。今年の演目は「リチャード三世」。王位を虎視眈々と狙う悪役リチャードは、その賢さと巧みな言葉で人の心をつかみ、欺き、次々と邪魔者を消し去っていく。悪の権化リチャードは子どもたちの心をわしづかみにして離さない。さあ、どうする子どもたちよ。

東京の四谷荒木町に、冬は「あんこう鍋」、それ以外の季節には「あなご」の提灯がぶら下がる「たまる」という小料理屋がある。私は、昭和三十九年というから四十八年前、まだ二十三歳で出版社の新人編集者であった頃から通っている、店で二番目くらいに古い馴染客だ。

トイレに香が焚いてあるところがオヤジさんのセンスで、小店だからといってそのへんを雑にしない気概でもある。時どき変わるそのトイレに架った額縁のなかで、私が好きなのは久保田万太郎直筆による「鮫鱈もわが身の業も煮ゆるかな」の句だ。オヤジさんが店を出した頃、ふらりと姿をあらわした最晩年の万太郎が、「あんこう鍋」にちなむ自句を書き記してくれたのだそうだ。

このオヤジは極め付けの頑固者で、有名人などにおもねることのない人だった。近くにあった文学座の稽古帰りに立ち寄る北村和夫さん、あるいは当時VANの社長だった石津謙介さん、はたまた作家の立原正秋さんなどもオヤジさんに気を遣って、カウンターでかしこまっていた。私は、そこに参加する資格もなかったが、オヤジさんに妙に気に入られて、珍品、逸品を出してもらおう恐いもの知らずの若造だった。そんな常連が

すべて鬼籍に入り、当のオヤジさんも亡くなって数年がたっている。

後を継いだ長男が当代店主となったが、彼が私と同じ歳だったこともあつて、二代にわたる縁がつづいている。その長男に男の子が生まれ、何かお祝いを……と思った

とき浮かんだのが、静岡の「凧八」の凧だった。静岡

の凧は、風の穏やかな静岡においてもよく上がるよう工夫された、下が張り出した五角形のいか凧で、四角い凧や奴凧とは別な趣きがある。平賀源内考案による相良凧もこの形だ。凧に児雷也の画を四代目の加藤阿さきさんに描いてもらって贈ったが、今もその凧はそのとき生まれた長男が持っている。

凧と言えは蜻蛉というイメージが浮かぶが、それは下についた尻尾が蜻蛉の足に似ているからだだろう。だが、いか凧は蕪村の句に「凧きのふの空のありどころ」があるが、関西では「いか」、関東では「たこ」と呼ぶことが多いようだ。烏賊幟とも紙鳶とも書くらしい。

「おまえ、いくつになった？」
先日、長男の長男つまり先代である

駿府の「凧八」と四谷荒木町の「たまる」

オヤジさんの初孫に会ってきいてみると、「もうじき四十」という答が返ってきた。私は口をあぐりと開けてしまったが、自分の年齢を思えば当然のことだ。どうやら彼は店を継ぐ気などさらさらなく、四谷荒木町の「たまる」は当代で幕を下ろすことになりそうだ。

だが、静岡の「凧八」は私が児雷也を描いてもらった四代目の祖母から、その孫娘である五代目後藤光さんに引き継がれて、今も伝統の火を点しつづけている。日本の伝統文化が縦に継承されてゆくのはまことに目出たいことであり、駿府の街に凧づくり職人はよく似合う。それにしても凧絵は、空へ上がった状態で地上の人間の目にとどくのを目的に描かれた、芸術と職人のワザの合体、不思議なジャンルの仕事である。



画/風鈴丸

【むらまつともみ】作家。東京生まれ。小学校～高校時代を清水（現静岡市）で過ごす。慶応義塾大学文学部卒業後、出版社勤務を経て文筆活動に入る。小説、エッセイ等、著書多数。「時代屋の女房」で直木賞、「鎌倉のおばさん」で泉鏡花賞受賞。



アケアクラブで
ますます
楽しくイキイキと



フィットネス会員コース (16歳以上)

60歳以上の方におすすめ

いきいき健康コース (60歳以上)

月会費 4,200円

プール	ジム	スタジオ
利用 ◎	利用 ◎	利用 ◎
レッスン ◎	加圧 △	レッスン ◎

セラピューティック エクササイズ® (介護予防のエクササイズ)

60歳以上の方を対象に、加齢による筋力や身体機能の低下を防ぐエクササイズです。いつまでも自立した暮らしを楽しめるように、要介護になることを未然に防ぐために身体を動かします。いきいき健康コースの会員の方のみ、受講できる教室です。

◎印は、利用可。△は、利用1回ごと525円の別途料金が必要になります。

使いたい施設で選ぶ

プールコース◎	月会費 5,775円
ジムコース	月会費 5,775円
スタジオコース☆	月会費 4,725円
パワーアップ	月会費 6,300円
加圧コース※	月会費 8,400円

※月会費5,775円にて、1ヶ月4回のコースもあります。
☆ヨガ・姿勢改善エクササイズ等があります。
◎初級レッスン・プールウォーキング・アケアエクササイズ等があります。

加圧トレーニング

(筋力アップ・血行促進・若返りに)

腕や脚の付け根を専用ベルトで締め加圧し、血流を適度に制限した状態で行う運動法。短時間のトレーニング、しかもきわめて軽い負荷の運動で、成長ホルモンの分泌が通常の290倍も！



曜日と時間帯で選ぶ

平日昼コース	月会費 4,725円
ジムコース	月会費 4,725円
平日夜コース	月会費 5,250円
土・日コース	月会費 5,250円

自分のスタイルで選べます

2012年 **9/14(金)までにお申し込みなら入会金無料!**

さらに月会費 初回分が **3,000円**に 詳しくは下記までお問い合わせください。

早期割引
6/28(木)まで

ジュニアスイミングコース
夏休み短期水泳教室
生徒募集中!



Tポイントが、使える!貯まる!

当施設は、県内で唯一Tポイントカードが使えるスポーツクラブです。

Sports Life
AQEA CLUB

スポーツライフアケアクラブ

日本水泳連盟 日本スイミングクラブ協会 会員 〒424-0114 静岡市清水区庵原町 145-7 <http://www.aqea-club.com>

(株)AQEA CLUB
TEL.054-364-8380



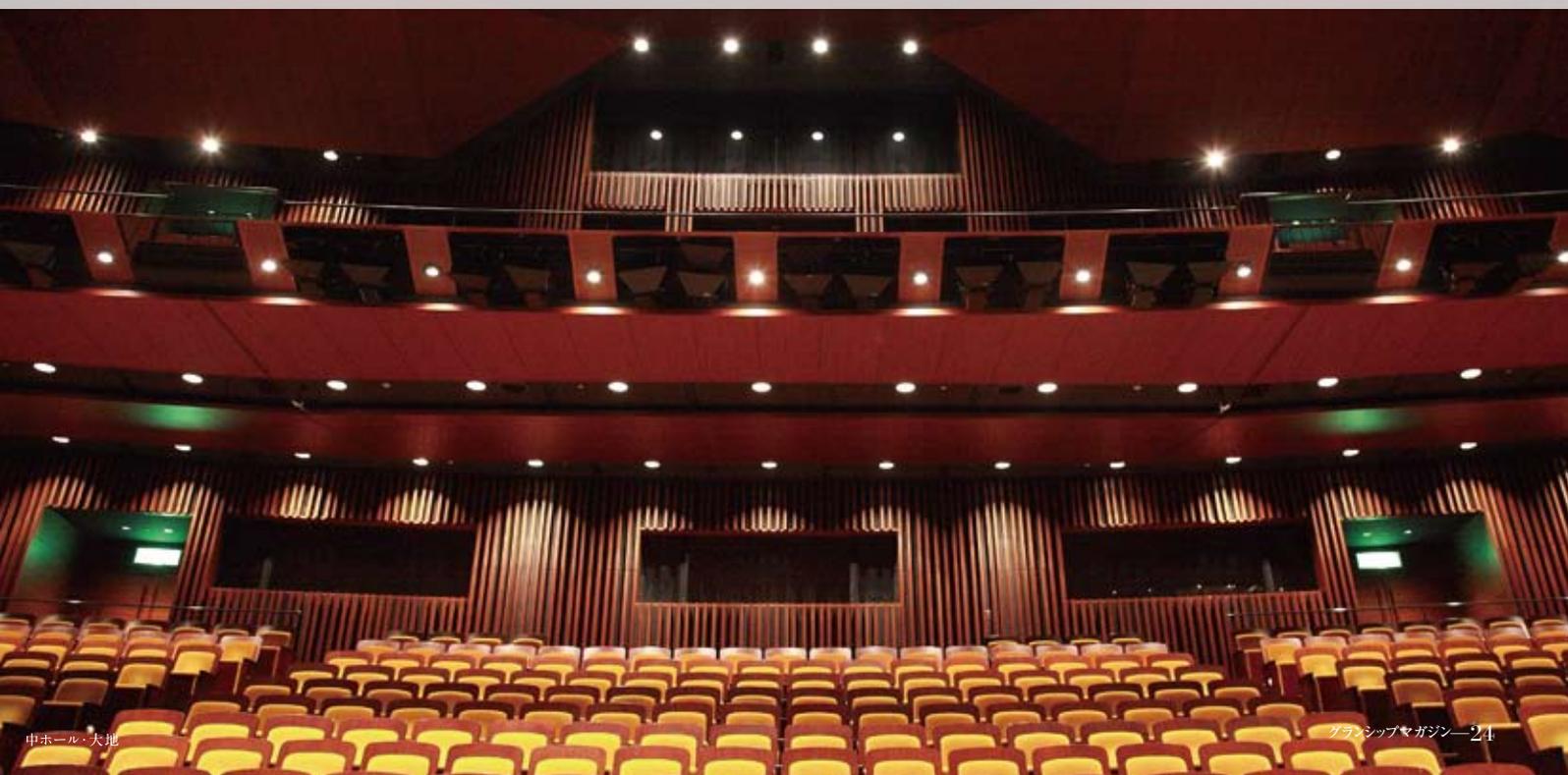


中ホール・大地



6F交流ホール

Love Granship 07
その、愛すべき美空間



中ホール・大地

グランシップマガジン—24



3階 共通ロビー



6階 交流ホール



3階 大ホール・海入り口

美しき反復が物語るもの

リフレイン礼讃。

上質なホールは、それ自体が一つの楽器のようである。単に美しく静謐な空気を纏っているというだけでなく、実際、すばらしい響きのための機能も持ち合わせている。例えば壁だ。

音の速さは、秒速約三四〇メートル。グランシップの中ホールで考えると、ステージ上の音が客席後方の壁に当たって返ってくるまでにおよそ〇・二秒。場所によっては〇・一秒という計算。そんなバラバラな反射音の中で演奏などできるわけがない。

従って、規則性と不規則性を兼ね備えた壁のリフレインは、理想的な反射音を伝えるためのデザインである。同時にそれは視覚的にも心地いい。反復学習やルーティンワークが嫌だといいつつ、私たちは繰り返ししの文様に惹かれ、ループ音楽に居心地のよさを感じてしまうのだ。

繰り返し行うことが人間の本性である——とは、いかにも哲学者らしいアリストテレスの言葉だが、グランシップもまた繰り返し働きかけることによって、その本質を示すことができるというわけだ。



3階 エスカレーター

ご利用についてのご案内

[申込受付]

9:00～20:00 ※開館時間/9:00～22:00

[申込方法]

電話または当財団窓口にて直接お申し込み下さい。なお、予約受付を開始する月のお申し込みについては事前に「抽選申し込み」を受け付けています。くわしくは右記あてにお問い合わせを。

お申し込み・お問い合わせ

TEL054(203)5713 FAX054(203)6710

財団法人 静岡県文化財団 利用サービス課

〒422-8005 静岡県静岡市駿河区池田79-4 メールアドレス yoyaku@granship.or.jp

<http://www.granship.or.jp/>



公演情報

2012/7-2012/11

※6月現在の情報です。出演者、天候等の都合により、公演の内容が変更されることがあります。

7/1(日)チケット発売 **¥1,190**

輝く静岡の先人展

一金原明善と 災害から郷土を守った先人たち

静岡県内で発生した地震・洪水を中心にしながら、災害に立ち向かってきた先人たちの業績を紹介する。夏休みの自由研究に役立つコーナーや、学生によるギャラリートークも好評。

■10:00~17:00 ■6階 展示ギャラリー
■300円 ※大学生以下無料 →P10参照

チケット発売中 **¥500**
→P4~参照

グランシップ 音楽の広場



昨年の様子

今年5周年を迎える、夏のグランシップ看板イベント! 今年は静岡県と中国・浙江省の友好提携30周年を記念し、浙江交響楽団との共演。事前に「音楽の広場たんけんツアー」も開催予定。

【出演】指揮：広上淳一(京都市交響楽団常任指揮者)
ソプラノ：腰越満美、テノール：加藤利幸
ヴァイオリン：大谷康子、長尾春花
管弦楽：グランシップ音楽の広場オーケストラ
合唱：グランシップ音楽の広場合唱団
ダンス：グランシップ音楽の広場ダンススクール

【曲目】スメタナ：交響詩「わが祖国」よりヴァルタヴァ(モルダウ)、チャコフスキー：祝典序曲「1812年」ほか
■15:00~(14:15開場) ■大ホール・海
■全席指定 大人 SS席 3,500円 S席 3,000円
A席 2,500円 B席 2,000円
子ども・学生 1,000円
※子ども・学生は4歳以上大学生以下

入場無料 **¥800-1200**

こどもワークショップサーカス

人形づくり、絵本づくり、アクセサリーづくりなど様々な体験型ワークショップをご用意。小さな子どもから大人まで楽しめる不思議な空間。トークイベントや音楽ライブも。

■8/8(水)・9(木) 10:00~17:00
10(金)・11(土) 10:00~21:00
12(日) 10:00~18:00

■入場無料(ワークショップのコーナーによっては要材料費)

※8・9日 ワークショップサーカスの会場をまるとつくりまします。10~12日 みんなでつくる、あそぶワークショップ。



チケット発売中 **¥2,270-2,900**

グランシップ 世界のこども劇場2012



カナダ「ひつじ」 フランス「クレーブ・クレーブ」

世界の演劇・パフォーマンスがグランシップに大集合! 0歳児から楽しめる、好奇心いっぱいの子どもたちに贈る上質なステージ。合間にワークショップも開催!

【演目】
カナダ「ひつじ」 10:00~10:30 / 17:30~18:00
※最終日は10:00~のみ
ポーランド「サティさん」 11:30~12:05
イギリス「ホホワイト」 11:30~12:15 / 14:30~15:15
スペイン「ストーン」 13:30~14:00
フランス「クレーブ・クレーブ」 16:30~17:20
手づくりおもちゃ体験や「えほんのおはなしかい」も
■中ホール・大地、6階 交流ホール、芝生広場
■全席自由
1ステージにつき 大人 1,000円 こども 500円
※こどもは1歳以上中学生以下 →P20~参照

ひつじワークショップ

■7/27(金)、28(土) ■14:30~15:30
■地下リハーサル室 ■対象年齢6歳以上

チケット発売中 **¥1,000**

グランシップ世界のこども劇場2012 子供のためのシェイクスピア「リチャード三世」

人形や黒コートの集団、思わず真似したくなるクラブなど、子どもから大人まで楽しめる、遊び心満載のシェイクスピア劇。王位を狙うリチャードの運命は?



撮影：石川純

【出演】伊沢磨紀、佐藤馨、山口雅義
戸谷昌弘、若松力、山崎清介 ほか
■19:00~(18:30開場)
■中ホール・大地
■一般 4,000円 大人ペア 7,000円
学生 1,000円 親子ペア 4,500円(一般1+学生1)
→P20~参照

舞台の裏側を見学 バックステージツアー開催!

■8/1(水) ■16:00~(20分程度)
■定員 20名 ■参加無料

※先着順。本公演のチケット購入者に限ります。

チケット発売中 **¥1,500**

ニューヨーク・フィル・ブラス・クインテット

名門オケの首席奏者たちが奏で、極上のブラスアンサンブル! ニューヨーク・フィルの重量感あるサウンドとパワーが、すべての音楽ファンに感動をお届けする。

【出演】
フィリップ・スミス(Tp)
イーサン・ベンスドーフ(Tp)
ジョゼフ・アレッシ(Tb)
フィリップ・マイヤーズ(Hr) アラン・ペイアー(Tu)
【曲目】ブラームス：ハンガリー舞曲第5番
エリントン：スイングしなげりや意味ないね ほか
■17:00~(16:30開場) ■中ホール・大地
■全席指定 S席 4,000円 A席 3,000円
学生 1,000円



チケット発売中 **¥1,600**

ニーナ・アナニアシヴィリ & ギルジア国立バレエ 「白鳥の湖」

世界的バレリーナであるニーナ・アナニアシヴィリ出演による最後の「白鳥の湖」をグランシップで上演! ギルジア国立バレエも加わって、ニーナの永遠の輝きを不朽の名作と共にご堪能あれ。



【出演】オデット/オディール：ニーナ・アナニアシヴィリ
ジークフリート王子：デニス・マトヴィエンコ
ギルジア国立バレエ団
■17:00~(16:30開場)
■中ホール・大地
■SS席 10,000円 S席 8,000円 A席 6,000円
B席 5,000円 学生 1,000円
完売御礼

チケット発売中 **¥2,900**

仮面ライダースーパーライブ2012

大人気の「仮面ライダーフォーゼ」の本格アクションステージ。この夏は、家族みんなで仮面ライダーに会いに行こう!

■10:00~ / 13:30~
■大ホール・海
■全席指定 3,000円
※2歳以下膝上観覧無料



©石森プロ・テレビ朝日・ADK・東映



7/29(日)チケット発売

1/4[Ⓞ]

**ヘルベルト・ブロムシュテット指揮
バンベルク交響楽団**

バンベルク交響楽団とN響の名誉指揮者、巨匠ブロムシュテット85歳の記念のコンサート!ドイツのオーケストラならではの響き、エネルギーあふれる演奏に浸る至福のひとつをお楽しみ!



©Gert Mothes

【曲目】

ベートーヴェン: 交響曲第3番「英雄」、交響曲第7番

■15:00~(14:30開場) ■中ホール・大地
■全席指定 S席 10,000円 A席 8,000円
B席 6,000円 学生 1,000円

「しずおかの文化新書」関連企画

「しずおかの文化新書」編集長・八木洋行がコーディネーターを務める恒例企画。

講演会

「静岡県の大地震・津波の記憶」

■講師: 松田香代子 (愛知大学非常勤講師)
■日時: 8月12日(日) 14:00~
■10階 1001-2会議室
■全席自由 500円 ※事前申込制

「しずおかのオートバイ列伝」

■講師: 藤倉幸 (バイクエンブレムコレクター・獣医師)
■日時: 10月13日(土) 14:00~
■9階 910会議室
■全席自由 500円 ※事前申込制

体感ツアー

コーディネーター: 八木洋行

「しずおかのオートバイ」

■日時: 8月25(土)
※要事前申込(定員40名)
※詳細、申込方法は後日ホームページ等にて発表します。

「ジャズクリニック」

「音楽家と指導者のためのワークショップ」
「山川静夫のここがみどころ・ききどころ」
「グランシップ静岡能 能楽入門公演」
の申込方法

「ジャズクリニック」「音楽家と指導者のためのワークショップ」「山川静夫のここがみどころ・ききどころ」は、電話・FAX・E-mailにて、下記宛申込を。グランシップ〇〇係(希望するイベントいずれか明記)。「グランシップ静岡能 能楽入門公演」は往復はがきのみから応募。はがき・FAX・E-mailの場合は住所・氏名・電話番号・参加人数を明記のこと。
TEL: 054-203-5714 FAX: 054-203-5716
E-mail: info@granship.or.jp



入場無料

9/15[Ⓢ]・30[Ⓞ]

**Wonderfulアート/
NHKハート展**

人と人がつながる瞬間。心からあふれる豊かな表現、新たな世界にグランシップで出会う!

■10:00~17:00 (入場は16:30まで)
■6階 展示ギャラリー
■入場無料



中越典子(女優)



事前申込制

9/23[Ⓞ]

**グランシップ静岡能
能楽入門公演**

グランシップ伝統芸能シリーズ第2弾。初めて能楽を見る方も分かりやすい解説つき。今回は「平家物語」から「清経」を上演!

■14:00~
■中ホール・大地
■全席指定 1,000円
※往復はがきによる事前申込制。応募者多数の場合は抽選。申込期間7/1(日)~8/15(水)
※申込方法は下欄参照 →P16~参照



「清経」



7/8(日)チケット発売

10/14[Ⓞ]

人形浄瑠璃 文楽

ユネスコ無形文化遺産に登録されている日本が世界に誇る「人形浄瑠璃 文楽」。太夫、三味線、人形遣いの三業が見どころの「文楽」を今年もご堪能あれ。文楽は初めてという方には事前のレクチャーも充実!

【演目】

昼の部: 「桂川連理柵 ~ 六角堂の段 ~ 帯屋の段 ~ 道行臈の桂川」
夜の部: 「二人禿」「義経千本桜~すしやの段」

■昼の部: 13:30~ 夜の部: 18:30~
■中ホール・大地
■全席指定 一般 3,500円 学生 1,000円
昼夜通し券 6,300円 →P16~参照



桂川連理柵 帯屋の段 撮影:青木真二

事前講座

**山川静夫の
ここがみどころ・ききどころ**

■9/3(日) 18:30~
■6階 交流ホール
■一般 1,000円 学生 500円 (要事前申込)
※申込方法は左参照



チケット発売中

8/19[Ⓞ]

グランシップ ビッグバンド・ジャズ・フェスティバル2012

4回目を迎える真夏のジャズフェスティバル。県内で活躍するアマチュアビッグバンドが、それぞれに趣向を凝らしたステージを披露。ビール片手に楽しもう!



【出演】
静岡県ビッグバンド連盟加盟バンド
奥田「スインギー」

英人&ザ・ブルースカイオーケストラ 昨年の様子
■13:00~(12:00開場) ■大ホール・海
■500円(当日は200円増)※小学生以下無料



事前申込制

8/18[Ⓢ]・19[Ⓞ]

ジャズクリニックも開催!

奥田「スインギー」英人はじめ、ザ・ブルースカイオーケストラのメンバーがjazzの基本を伝授!練習の成果は、ビッグ



バンド・ジャズ・フェスティバルのステージで披露。
【募集楽器】
クラリネット、アルトサクソ、テナーサクソ、バリトサクソ、トランペット、トロンボーン、ピアノベース、ドラムなど ※その他の楽器は応相談

■8/18(土)13:30~18:00
19(日)10:00~12:00
※クリニック終了後本番に出演
■対象 中学生以上の楽器経験のある方
■参加料 一般 5,000円 学生 3,000円
※事前申込制 6/30(土)締切
※申込方法は下欄参照。申込用紙はグランシップホームページからもダウンロードできます。



事前申込制

8/24[Ⓢ]・25[Ⓞ]

音楽家と指導者のためのワークショップ・子どものためのワークショップ♪音となかよし

英国からエデュケーション・プログラムの専門家を迎え、双方向コミュニケーションや自由な表現を体験する、創造・参加型のワークショップ。



【講師】マイクスベンサー 昨年の様子
【アシスタント】日本フィルハーモニー交響楽団楽団員
■8/24(金)13:00~18:00
8/25(土)10:00~16:00
■地下リハーサル室 ほか
■一般・大学生(2日間) 2,000円
子ども(小学校4~6年生、2日目のみ) 500円
※事前申込制 6/22(金)受付開始
※申込方法は下欄参照

JUST FINISHED!



シンデレラ シンデレラ 4~6.May.2012

終演後、静岡芸術劇場の舞台にて。

撮影：グランシップ撮影サポーター 杉山美矢子

読者 Presents

山川静夫氏
サイン入り執筆本
「歌舞伎の愉しみ方」
プレゼント!



5月26日(土)に開催した「山川静夫のここがみどころ・ききどころ」に出演した山川静夫氏のサイン入り執筆本を2名様にプレゼント。添付のハガキに住所、氏名、電話番号およびプレゼント名を明記の上、下記あてに郵送を。(平成24年8月末日消印有効)

なお、当選者は賞品の発送をもって発表にかえさせていただきます。
〒422-8005 静岡市駿河区池田79番地の4 グランシップG係
TEL054-203-5714 ※30ページのハガキをご利用下さい。

MEMBERS 「グランシップ友の会」会員募集

グランシップが開催する公演・イベントをよりおトクに楽しんでいただくためのメンバーズクラブ「グランシップ友の会」。ぜひ、あなたもご入会を。

■会員タイプ・年会費(個人会員の初年度会費は入会月により異なります。)

- ◆個人会員 年会費 2,000円 ◆法人特別会員 年会費 200,000円
- ◆法人一般会員 年会費 100,000円

(チケット代金のカード払いを希望の場合、NICOS・VISA・Master他提携カードの利用可)

■特典

- ◆チケット割引10%割引 ◆チケット先行予約
- ◆公演情報誌送付 ◆提携店割引
- ◆情報誌上、グランシップホームページ及びグランシップ館内に社名掲載(法人会員特典)

■お申し込み・お問い合わせ

グランシップ友の会事務局
〒422-8005 静岡市駿河区池田79番地の4 グランシップ3階
TEL.054(203)5714 FAX.054(203)5716

〈友の会法人会員〉

静岡ガス(株)、(株)タミヤ、鈴与(株)、(株)静岡新聞社、静岡放送(株)、(株)劇団ひまわり、(株)ステージグループ、静岡県ビルメンテナンス協同組合、静岡信用金庫、(株)ビーエーシー、(株)テレビ静岡、(株)静岡第一テレビ、コカ・コーラ セントラル ジャパン(株)、ダイドードリンコ(株)、(株)イノウエテクニカ、(株)伊藤園、静岡エフエム放送(株)、(株)ニッセー日本平ホテル、(株)コアス、公立大学法人静岡文化芸術大学、(株)静岡朝日テレビ、(株)天神屋、(株)望月商事、学校法人常葉学園、羽野水産(株)、丸茂電機(株)

財団法人 静岡県舞台芸術センター 〒422-8005 静岡市駿河区池田79-4 TEL.054-203-5730 <http://www.spac.or.jp>

SPAC NEWS

世界が注目するダンスカンパニー〈Noism〉
話題の新作、待望の静岡公演!



見世物小屋シリーズ3部作完結編

「Nameless Poison〜黒衣の僧」(2009年)@Isamu MURAI

Nameless Voice

—— 水の庭、砂の家

演出振付：金森 穰 衣裳：堂本教子
映像：遠藤 龍 出演：Noism1

- 一般：4,000円 ■ペア割引：7,000円(ペアチケット2枚)
- 学割：2,000円(大学生・専門学校生) / 1,000円(高校生以下)
- グループ割引：(3名様以上)1名様 3,200円 その他、各種割引がございます。



7/21(土)・22(日) 各日 16:00開演

静岡芸術劇場(グランシップ内)

現代の日本を代表するダンスカンパニーNoismの「見世物小屋シリーズ」は、彼らの新境地を切り拓いた作品として注目を集める。シリーズ第1弾は、第8回朝日舞台芸術賞舞踊賞などを受賞。第2弾は、2010年にチェーホフ国際演劇祭から招聘を受け、モスクワ公演も果たした。今回は同シリーズの完結編として静岡で待望の上演となる。

SPACシアタースクール2012夏 「オフェリアと影の一座」

写真：SPACシアタースクール2011夏「モモ」より



8/12(日)

13:30開演 / 17:00開演
静岡芸術劇場(グランシップ内)

原作：ミヒャエル・エンデ
演出：中野真希 (SPAC)

小さな劇場の舞台の奥でひとりの「影」に出会ったオフェリアさん。やさしい彼女のもとに次々と集まり始める、行き場のない影法師たち。自由自在に変身できる彼らとともに、オフェリアさんは世界を旅してお芝居を続けてゆき……。県内から集まった小学6年生から高校2年生までの子どもたちが、舞台芸術の創造に挑戦します。毎年大きな感動を呼んでいるSPACの県民参加プログラムです。

SPAC
SHIZUOKA PERFORMING ARTS CENTER

芸術総監督 宮城 聡

静岡県舞台芸術センター

チケットをご購入の際はSPACチケットセンターまで **TEL.054-202-3399** (10:00~18:00)

SPAC 検索

TOPIC-1

平成24年度のグランシップは静岡県・浙江省友好提携30周年記念催事で幕開け



分野別調印式の様子



左から植田徹・静岡県議会議長、夏宝龍・浙江省長、川勝平太・静岡県知事



親善演奏会

静岡県と中国・浙江省が友好提携30周年を迎えたことを記念し、グランシップで様々な記念催事が行われた。4/4(水)中ホール・大地の記念式典には川勝平太・静岡県知事、夏宝龍・浙江省長が出席。両県省間における文化や経済、教育など各分野での交流・協力強化を目指した分野別協定の調印式のほか、静岡交響楽団・静岡フィルハーモニー管弦楽団と浙江交響楽団による親善演奏会が催された。また浙江省から静岡県へ贈られた漆喰絵画「甌壺」除幕式が行われ、川勝県知事、夏省長、植田徹・静岡県議会議長が参加。絵画や浮き彫りを駆使した中国伝統芸術「甌壺」による幻想的な作品は、両県省の友好を象徴している。作品は6階展示ギャラリー前にて常設展示中。

TOPIC-2

東日本大震災復興支援コンサート



3/8(木)、中ホール・大地にて、静岡交響楽団や仙台フィルハーモニー管弦楽団、静岡児童合唱団 & 青葉会スベリオルが参加した東日本大震災復興支援「絆コンサート」が開催された。マエストロ大植英次さんの熱い指揮にメンバーは懸命な演奏で応えたほか、ヴァイオリン奏者長尾春花さんも共演。ダイナミックで力強い復興支援の音色に、観衆が酔いしれた。収益は「音楽の力による復興センター」が行う被災地でのコンサートの経費に充てられる。

TOPIC-3

グランシップ、総来館者1,000万人達成セレモニー開催



平成11年3月に開館したグランシップは今年2月、総来館者1,000万人を達成。3/8(木)、これを記念して1階エントランスホールでセレモニーが行われた。静岡市立東豊田中学校吹奏楽部によるファンファーレ、川勝平太静岡県知事の挨拶のほか、県民から募集した写真・グランシップの歩みを記録した写真などを組み合わせたフォトモザイク除幕式も開催。

TOPIC-4

親子で楽しむ演劇「シンデレラ シンデレラ」



5/4(金・祝)～6(日)、世界で活躍する演出家鈴木忠志さんが初めて親子に向けて創った作品「シンデレラ シンデレラ」が上演された。「親子で楽しめる演劇」がコンセプトの本公演には、たくさんのおもちゃたちが劇場に訪れ、音楽やダンスも組み合わせられた舞台を体験した。

TOPIC-5

木と触れあう！
グランシップ こどものくに開催

5/3(木・祝)～6(日)、「グランシップこどものくに～木とあそぼう～」が開催され、4日間で12,000人以上が来場した。木の玉をピカピカに磨き上げるワークショップのほか、展示ギャラリーには触って遊べる木のおもちゃがたくさん。木でつくられた動物なども展示され、直接触れる木の魅力に子どもたちは夢中の様子だった。

GRANSHIP
SHOW-WINDOW ALBUM

「グランシップアートコンペ2012」で入賞した作品を展示。第一弾となる3～5月は、一見して無機質な三角形を用いて、内なる感情「ハトス」を表現。近づいてみると、もう一つの鮮やかな世界を見ることができた。次の作品は6月18日から公開。

タイトル／「ハトスのはばたき」
制作／加藤 広子(東伊豆町出身)

グランシップの運営にボランティアの立場で参加する「グランシップサポーター」が、それぞれの心意気や感想、体験談をレポートします。



託児サポーターになって思うこと

第15期サポーター 託児業務担当 松永加依子

四月中旬、グランシップサポーターの総会があり、大勢のサポーターの中、新人として活動を開始しました。

最初はベテランの指導のもと参加しましたが、その後は小人数ですが何件かの託児に、毎回楽しみに出かけています。性格、興味等、皆それぞれに個性があり、色々とお話をしながら楽しく過ごしています。五月の連休には、「こどものくに」のイベントがあり、楽しいふれあひも持てました。私がグランシップに最初に出かけたのは、中ホール・大地でのオープニング記念、中村絃子ピアノリサイタルでした。力強い生の演奏が聴けたこと、今でも鮮明に覚えています。あれから早いもので、十三年、文化活動の拠点としてのグランシップも県民に浸透し、特に、この頃は、子どもたちに直にふれて欲しいとの思いで鑑賞に力を入れているとの事、私も大賛成です。若いお母様方にも、良い物をいっぱい見ていただき、それを子どもたちに伝えてほしいと思っています。

社会的にも子育て支援の輪が広がっています。働くお母様にも来ていただけるよう、少しでもお手伝いが出来れば幸いです。情緒豊かな小さな子どもたちの健やかな成長を願いながら、また一方で、私も

元気をもらいながら、活動をしていきたいと思っています。



Report 056

READER'S VIEW

●グランシップというところ

高尚で子育て世代が気軽にコンサートへ行く雰囲気ではないと思っていました。けれども一度だけ、子どものためのコンサートがあり、チケット代も手頃で子どもに見せたかったので行ったことがあります。まだ幼いわが子がヴァイオリンを貸していただき、構えた姿をグランシップの方がカメラで撮ってくれました。大きく伸ばした写真を一年ぐらい飾りました。

（焼津市・小林徑子さん）

●忙しい毎日の生活でグランシップマガジンを毎回とても楽しみに拝見しています。人物のプロフィール・生き方・考え方などを読むと、努力で名声を勝ち取っている人が多いのを知り、我々も身近に感じます。グランシップに行かなくても写真と文章で想像して楽しんでいます。

（周知郡花嶋幸子さん）

●グランシップは県の良き方向を示してくださる宝だと思えます。身近に文化の方向を示してくださる羅針盤があり、本当にうれしく思いました。ここに来れば本当に心地よく良き風を感じます。展望台から見れば大海原へ向かい、船先がぐっと伸びています。ますます楽しみです。

（焼津市・佐野美江さん）

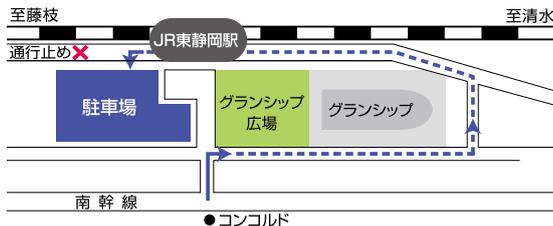
★グランシップおよび本誌「G」に関する「意見、ご感想、お問い合わせなど、皆さまからのお便りをお待ちしています。なお、お寄せいただいたお便りは、本コーナーに転載させていただくこともありますが、転載不可の方は、その旨明記の上、お送りください。

Editor's room.....

5月の連休期間、グランシップは笑顔の親子連れで賑わいました。恒例の「こどものくに」は「木に触れよう!」、木の温もり、木の香りとともに、多くのボランティアやグランシップサポーターの皆さんの笑顔に誘われて12,000人以上の親子が楽しんでくださいました。また静岡芸術劇場では、世界で活躍する演出家・鈴木忠志さんに初めて挑戦していただいた親子のための演劇「シンデレラ シンデレラ」が上演されました。子どもには「本物の芸術を」と良く言われます。でも、日本ではなかなか素晴らしい作品に出会う機会が少ないこともあり、グランシップでは毎年夏休みに世界各国の児童・青少年のための演劇を沖縄市で開催されるキジムナーフェスタの協力でお届けしてきました。「日本から世界に発信できるような子どもたちのための作品を創りませんか。」キジムナーフェスタのプロデューサー下山久さんの申し出で今回の作品は生まれました。演技、身体表現、舞台美術、音響・照明などの舞台技術、音楽と、全てに手抜きのない「シンデレラ シンデレラ」の舞台は子どもたちに本気で取り組むことの大切さを伝えたに違いありません。静岡でも、富山でも、子どもたちの素直な反応や感想は、何よりの贈り物でした。残念ながら今年実現できなかった沖縄公演は来年のキジムナーフェスタで予定されています。今回の作品がきっかけとなり、日本でも上質で多彩な子どもたちの作品が沢山生まれることを心から願っております。

グランシップ館長 田村 孝子

グランシップにお越しの際は、混雑緩和のため、公共交通機関をご利用ください。



●ACCESS / 東海道新幹線(ひかり)で東京から1時間、大阪から2時間。JR静岡駅下車。東海道本線でJR東静岡駅まで3分。東静岡駅南口に隣接。

手のひらに、明日をのせて。

NTT docomo



ひらめきは、何度でも書き直せる。



実物大

GALAXY Note X

フリップカバー(試供品)同梱

ドコモ スマートフォン

docomo NEXT series

しゃべってコンシェル対応

その瞬間、手のひらは競馬情報ステーションに。様々なデータをウェブで集めながら、出馬表への書き込み、書き直しも、タッチペンなら自由自在。シンプルなのに、多彩な機能。大画面なのにジャストフィット。レースの展望は、手のひらから広がる。

【お問い合わせ】ドコモの携帯電話からは局番なしの151(無料)一般電話等からは ☎0120-800-000(番号をよくお確かめのうえ、おかけください。なお、一部のIP電話からは接続できない場合があります。)
※iモード®には対応しておりません。※spモード®でiモード®のメールアドレスが使用できます。※家族間無料メールには非対応です。※掲載内容はAndroid™ 2.3バージョンの内容となります。※商品写真および画面はイメージです。実物と若干異なる場合があります。

GALAXY Note

検索

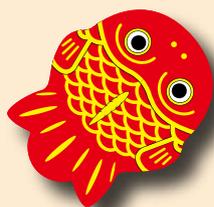
マナーもいっしょに携帯しましょう

モバイル・リサイクルネットワーク 携帯電話 PHSのリサイクルにご協力を。

3つわかる! 3オン2オフ

あなたの暮らしのいつもそばに。

貯金もローンもJAバンク。



 **JAバンク 静岡**
県下JA・静岡県信連

<http://www.jabank-shizuoka.gr.jp> または、インターネットで「JAバンク静岡」を検索!

JAバンク静岡

検索 




GRANSHIP

静岡県コンベンションアーツセンター

静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ

指定管理者 財団法人静岡県文化財団 〒422-8005 静岡県静岡市駿河区池田79-4 TEL.054-203-5714 FAX.054-203-5716

<http://www.granship.or.jp>